

修士の学位申請に関する手続き及び審査体制・基準等について

1 修士の学位

修士課程または博士課程前期課程に所定の期間在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち、当該課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者は、その課程を修了した者とされ、修士の学位が授与されます（大学院学則第 24 条、第 26 条）。

商学研究科では、研究者養成・後期課程進学コースは修士論文を、高度専門職養成コースは課題研究論文を提出して審査を受けることになります。

2 修士論文及び課題研究論文審査体制・方法

(1) 審査体制

修士論文及び課題研究論文の審査は、研究科委員会の定める審査委員によって行います。

審査委員は、当該修士論文及び課題研究論文に関連ある研究領域の教員 3 名以上とし、主査を 1 名、副査を 2 名以上とします。ただし、特別の事情がある場合には副査を 1 名とすることがあります。

(2) 審査方法

① 最終試験

修士の学位に関する最終試験は、修士論文及び課題研究論文の提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文及び課題研究論文を中心とし、試問の方法によって行います。試問は、口頭によりますが、筆答試問を併せ行うことがあります。

② 審査期間

修士論文及び課題研究論文の審査及び最終試験は、当該修士論文及び課題研究論文の提出期限後 3 カ月以内に終了します。

③ 審査結果

修士論文及び課題研究論文の審査及び最終試験の結果は、研究科委員会の承認を得て決定します。

3 修士論文審査基準

〔学位論文（修士）審査基準〕

学位論文（修士）を評価する際には、次の基準で審査を行います。

- (1) 研究テーマが明確であり、そのテーマに基づいて一貫した論理展開がなされていること。
- (2) 先行研究や関連した研究を適正に調査したうえで、研究内容に適した分析方法が用いられていること。
- (3) 精深な学識に基づく新しい知見や独自の観点があること。

〔課題研究論文 審査基準〕

課題研究論文を評価する際には、次の基準で審査を行います。

- (1) 課題研究のテーマが明確であり、そのテーマに基づいて一貫した論理展開がなされていること。
- (2) 課題に関連する研究を適正に調査したうえで、課題研究内容に適した分析方法が用いられていること。
- (3) 高度専門職業人として必要な知識と問題解決能力を備えていることが示されていること。

4 学位授与までの主な流れ



5 論文提出要件

論文を提出するには、外国語の学力確認に合格する必要があります。ただし、以下の方法により、学力確認を行ったものとして、これを免除します。

【研究者養成・後期課程進学コース】

次のいずれかの方法により免除します。ただし、学内進学試験による入学者は（２）によるものとします。

（１）入学試験での受験外国語

（２）次のいずれかに該当すること。

- ① 「外国書研究(英語)」を修得していること。
- ② 修士論文において、母国語・母語以外の外国語の文献を引用ないし参照していること。
- ③ ２年以内に取得した TOEFL iBT(Internet-based testing)のスコアが 69 点以上の者
- ④ ２年以内に取得した TOEIC のスコアが 650 点以上の者

【高度専門職養成コース】

次のいずれかの方法により免除します。

- （１）「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」のうち、いずれか１科目（２単位）を修得していること。
- （２）課題研究論文において、母国語・母語以外の外国語の文献を引用ないし参照していること。
- （３）２年以内に取得した TOEFL iBT(Internet-based testing)のスコアが 69 点以上の者
- （４）２年以内に取得した TOEIC のスコアが 650 点以上の者

注１ 英語を母国語・母語とする者は、研究者養成・後期課程進学コースは（２）の②、高度専門職養成コースは（２）によるものとします。

注２ TOEIC・TOEFL による学力確認については、各院生が提出した論文の計画書を承認する研究科委員会において、証明する書類の原本を提出してください。

6 論文計画書の提出について

提出期の計画書（様式）は、別紙を確認してください。

- （１）提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しません。
- （２）計画書提出に際しては、指導教員の承認を得てください。
- （３）既に提出した論文計画の変更は、認められません。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て「論題変更届」を提出することができます。
- （４）計画書を提出したが、論文を提出しない場合は、指導教員の承認を得て「修士論文提出の辞退について」を教務センターへ提出してください。